

# 北陸

## 第89期中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日



北陸電力株式会社

# 第89期中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

## 目次

- 3 株主の皆さまへ
- 4 志賀原子力発電所では敷地内の「シーム」について徹底した追加調査を実施しております。
- 6 北電トピックス
- 7 北陸電力グループの紹介
- 8 事業の概況
- 10 連結財務諸表
- 12 ハレの日を彩なす～北陸の祭り～ 勝山左義長まつり
- 14 株主information

## 表紙

### ハレの日を彩なす～北陸の祭り～ 勝山左義長まつり

福井県勝山の地で、春の訪れと五穀豊穫を願って小正月に左義長（火祭り）を行ってきたのが「勝山左義長まつり」の起源です。300年以上の昔から「人を楽しませる」精神で発展してきたこのお祭りの期間中、軽妙さあふれる動きで盛り上げる「左義長太鼓」などのさまざまなお出し物や演出で、町は笑いと感嘆の声で賑わいます。



画：寺口 康信

# 株主の皆さんへ

株主の皆さんには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。

本年7月に開催された、「東日本大震災を踏まえて原子力発電所の安全性について審議を行う「地震・津波に関する意見聴取会」において、一部の専門家から、志賀原子力発電所内で確認されているシームは必ずしも活動性が否定できないとの意見がありました。当社は、国から追加調査の指示を受け、8月より調査を実施しております。発電所建設時にシームの詳細な調査を行い、耐震安全上問題となるものではないことを確認しておりますが、皆さんにご安心いただけるよう、徹底した調査を行ってまいります。

当社といたしましては、電力の安定供給、経済性および環境保全の観点から、原子力は今後も重要な電源であると考えております。9月末には、防潮堤・防潮壁が完成いたしましたが、引き続き、津波等に対する安全強化策を確実に実施し、志賀原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

また、今夏は、原子力発電所の運転停止が継続する中、供給力の確保に努めるとともに、お客さまに節電にご協力いただいたことから、安定した電力需給を維持することができました。今冬も概ね8%以上の供給予備率を確保できる見通しとなりましたが、気温影響や大型電源のトラブルなどを考慮すると厳しい状況が予想されますので、当社は、需給両面から適切な対策を講じてまいります。

現在、国においてエネルギー政策の見直しや電力システム改革などの議論がなされており、電気事業を取り巻く環境はかつてない厳しい状況にありますが、当社グループは、電力の安定供給という不变の使命を確実に果たし、「皆さんから信頼され選択される企業」として、持続的に成長・進化してまいりたいと考えております。

中間配当につきましては、収支状況は非常に厳しいものの、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきました。

株主の皆さんにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜わりますようお願い申しあげます。



平成24年11月

取締役会長 永原 功 取締役社長 久和 達

# 志賀原子力発電所では敷地内の「シーム<sup>\*1</sup>」について徹底した

当社は平成24年7月18日、国から志賀原子力発電所敷地内のシームについて、追加調査計画の策定および資料の状況等を報告するよう指示を受け、7月25日に国へ追加調査計画を報告、8月10日追加調査に着手いたしました。

当社は、敷地内のシームに関しては活動性がないものと評価しておりますが、国から出された指示を真摯に受け止め、皆さまにご安心いただけますよう、全力を挙げて追加調査に取り組んでおります。

※1：シーム 岩盤中の割れ目にある薄い粘土の層。志賀の場合、幅は0.1cmから最大でも10cm。志賀原子力発電所敷地内では8本のシームを確認しており、そのうち1号機原子炉建屋下を通るシームをS-1と呼んでいます。

## ■ 敷地内シーム追加調査の実施状況について

1号機原子炉建屋の下を通りS-1については、発電所建設のために表層部がすでに掘削されており、直接確認することはできません。

そのため、地中に岩盤調査坑を掘りS-1本体を直接確認するとともに、種々の観察、分析の結果等に基づきシームの活動性等について総合的に評価します。

## ■ 調査の概要

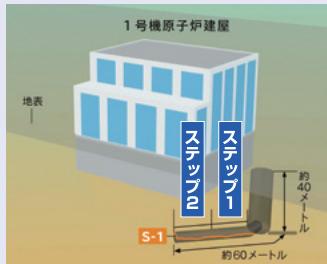
### ◇ [S-1の性状に関する調査]

1号機原子炉建屋下のS-1を対象とした岩盤調査坑の掘削・地質観察等

### ◇ [狭在物に着目した活動年代に関する調査]

S-1の間隙に挟まれた物質の試料分析

岩盤調査坑イメージ図



（10月2日撮影）  
ステップ1  
原子炉建屋の手前まで掘削  
さらに必要な場合  
→  
ステップ2  
原子炉建屋下まで掘削

### ◇ [S-1の性状に関する調査]

海岸部に見られる岩盤の段差とS-1との類似性の確認



（9月20日撮影）

### ◇ [S-1の詳細位置に関する調査]

S-1の南東部の位置を確認するためのボーリング調査等



（9月20日撮影）

### ◇ [発電所敷地造成前の地形等に関する調査]

発電所の周辺段丘面（敷地外含む）を構成する堆積物の年代の把握等（火山灰分析等）

### ◇ [周辺の断層との関連性に関する調査]

S-1と発電所周辺の福浦断層および兜岩沖断層との関連性に関する調査

今後の予定：中間報告…12月上旬、最終報告…H25年3月末（岩盤調査坑をステップ1で終了する場合）、H25年6月末（岩盤調査坑をステップ2まで実施する場合）

# 追加調査を実施しております。

## 【参考】建設時における敷地内シームに関する当社の調査結果について

志賀原子力発電所敷地内のシームについては、その性状・長さ・活動性等を総合的に判断して、耐震安全上問題となるものではないと確認しています。これらは建設時の国による安全審査においても確認されています。

### ■ 敷地内のシームは、長さは短く、地震を起こすものではありません。

- シームの水平方向長さは数十mから最大数百mであり、しかも地中深くまで伸びているものではないことをボーリング調査等で確認しています。

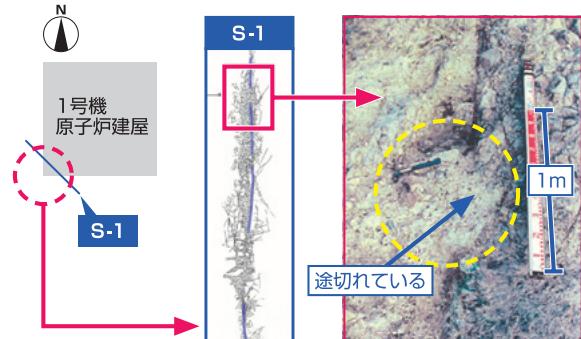
### ■ 1号機原子炉建屋の基礎底面(南西端)のシームは連続していないことから、岩盤がずれたものでも、地震を起こすものではありません。

- 1号機原子炉建屋基礎底面では、シームが途切れている状況を確認しています。

### ■ 敷地内のシームについては、1号機建設時の国の安全審査において、専門の審査委員が現地調査を実施し耐震安全上問題となるものではないことを確認しています。



当時の安全審査における専門の審査委員による現地調査(S-1確認状況)の様子〔昭和62年5月～6月〕



1号機原子炉建屋基礎底面で確認されたS-1(シームが途切れている)

## ■ 志賀原子力発電所の「防潮堤・防潮壁」が完成しました

志賀原子力発電所における津波等に対する安全強化策の「更なる対策」の一つである「防潮堤・防潮壁」が9月末に完成しました。

これにより15mの津波が来襲しても発電所敷地内が浸水しないことから、より一層信頼性が向上しました。



防潮堤  
・長さ約700m、高さ4m（標高15m）



防潮壁(4箇所)(取水槽および放水槽)  
・高さ4m（標高15m）

当社は、引き続き、志賀原子力発電所の安全強化策を確実に実施するとともに、今後も新たな知見が得られた場合は迅速かつ的確に対策を追加し、志賀原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

# 北電トピックス

## 低炭素社会の実現に向けた取組み

### 片貝別又発電所開発計画

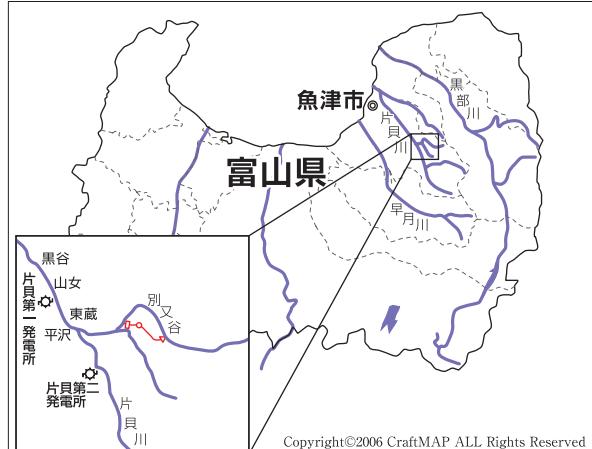
当社は、再生可能エネルギー導入拡大の取組みの一環として、新規中小水力開発、河川維持放流水の活用、既存設備の改修などにより、水力発電量の拡大を着実に進めております。

中小水力発電の新規開発としては、富山県魚津市の片貝川上流域において、平成28年度の運転開始を目指して、片貝別又発電所の建設準備に取りかかっております。

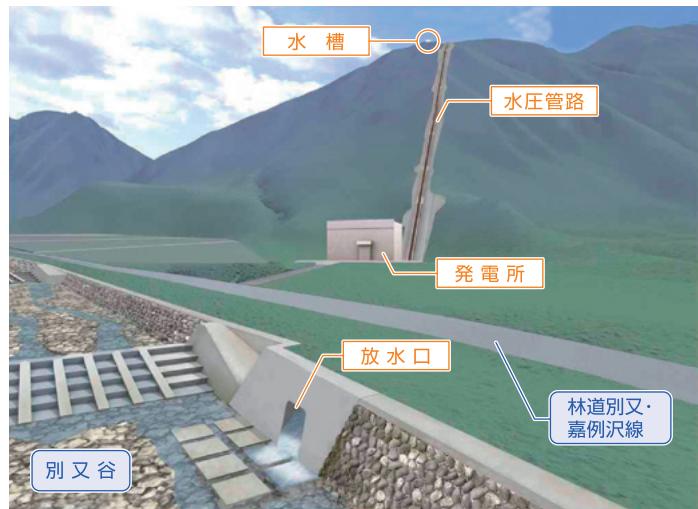
本開発計画は、北陸の豊富な水資源の有効活用を図るとともに、低炭素社会の実現に貢献するものと考えており、地域の皆さんのご理解とご協力をいただきながら開発を進めてまいります。

### 〈開発計画の概要〉

|                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 名 称                  | 片貝別又発電所                    |
| 所 在 地                | 富山県魚津市山女字別又地内              |
| 発 電 出 力              | 4,400kW                    |
| 発 電 電 力 量            | 約1,740万kWh／年               |
| 発 電 方 式              | 水路式                        |
| C O <sub>2</sub> 削減量 | 約5,300t-CO <sub>2</sub> ／年 |
| 着 工 時 期              | 平成25年度                     |
| 運転開始時期               | 平成28年度                     |



位置図



片貝別又発電所(イメージ図)

# 北陸電力グループの紹介

## 北電テクノサービス株式会社

電力設備を守り続けて30年  
水力発電・受変電・通信・監視制御設備の  
**トータルサポート企業**

〒930-0858 富山県富山市牛島町13番15号  
TEL(076)442-4818  
ホームページ [www.hts.co.jp/](http://www.hts.co.jp/)

会社概要

設立年月日：昭和57年4月1日  
代 表 者：取締役社長 長谷川 俊行  
資 本 金：50百万円  
従 業 員：321名(平成24年3月末)

### 主な事業内容

#### ◆安定供給への取組み

##### ○水力発電・受変電設備向けサービス

これまでに100箇所以上の水力発電所、180箇所以上の変電所で培った技術・技能を活かして、異常を早期に発見し、事故や災害を未然に防止しております。

###### 【水力発電設備】

- ・新設時におけるコンサルティング
- ・更新工事の提案、設計、施工
- ・点検、試験測定、分解組立点検、診断
- ・メンテナンス一括受託

###### 【受変電設備】

- ・増設および更新工事の提案、設計、施工
- ・点検、試験測定、分解組立点検、診断
- ・自家用電気工作物の保安管理
- ・遠隔カメラ監視システムの構築



ガス絶縁開閉装置新設工事



電力系統制御システム



富山太陽光発電所

#### ○通信設備向けサービス

電力用通信設備のメンテナンスをはじめ、携帯電話の無線基地局やテレビ共同受信施設のメンテナンスを行っております。

##### ○電力系統監視・制御システム向けサービス

電力制御システムのメンテナンスや制御用プログラム・監視制御システムのソフトウェア開発を通じて、高品質で安定した電気供給の一翼を担っております。

#### ◆再生可能エネルギーへの取組み

##### ○太陽光・風力発電所向けサービス

北陸電力(株)の富山・志賀・三国太陽光発電所をはじめ、日本海発電(株)の福浦風力発電所等のメンテナンスを行っています。

# 事業の概況

(単位：億kWh, 億円, %)

|                   | 平成24年度上半期<br>(A) | 平成23年度上半期<br>(B) | 増 減<br>(A) - (B) | 対 比<br>(A) / (B) |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 販 売 電 力 量         | 136.2            | 140.9            | △ 4.7            | 96.7%            |
| 売 上 高 ( 営 業 収 益 ) | 2,495            | 2,415            | 80               | 103.3%           |
| 営 業 利 益           | 236              | 152              | 83               | 154.8%           |
| 経 常 利 益           | 187              | 94               | 92               | 197.5%           |
| 四 半 期 純 利 益       | 121              | 38               | 82               | 315.6%           |

(注) 億円未満切捨

## 収支の状況

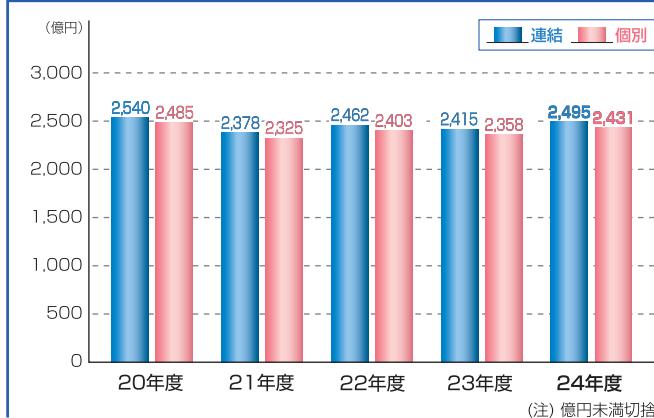
当上半期の我が国経済は、雇用情勢が改善傾向にあるものの、生産の一部に海外経済減速の影響がみられるなど、持ち直しの動きが緩やかになっております。北陸地域においても同様の状況で推移しました。

このような経済情勢のもと、当上半期の連結収支につきましては、収益面では、電気事業において電灯・電力料が増加したことや卸電力取引所における販売電力収入の増加などから、売上高(営業収益)は2,495億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、前年同期に比べ80億円増の2,511億円となりました。

一方、費用面では、電気事業において人件費や諸経費の削減など効率化に努めたほか減価償却費などが減少したことから、経常費用は前年同期に比べ11億円減の2,324億円となりました。

以上により、当上半期の経常利益は187億円、純利益は121億円となりました。

## ■売上高の推移(上半期)

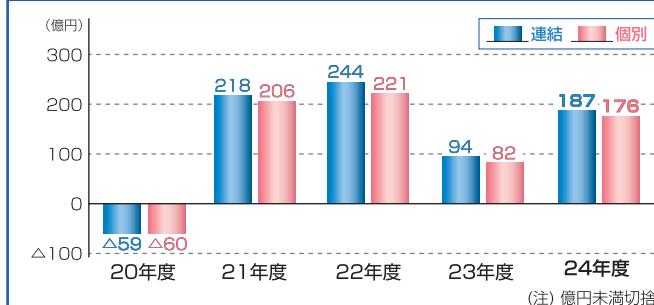


## 販売の状況

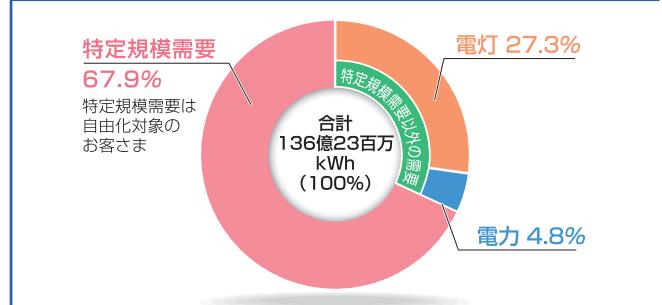
当上半期の販売電力量につきましては、電灯および業務用は、夏季の気温が前年よりも高く推移したことによる気温影響はあったものの、節電影響などから、電灯は前年同期を下回り、業務用は前年同期なみとなりました。また産業用その他は、大口電力で機械などが低調に推移したことなどから、前年同期を下回りました。

この結果、販売電力量は136億23百万キロワット時（うち特定規模需要92億54百万キロワット時）となり、前年同期と比較すると3.3%の減少となりました。

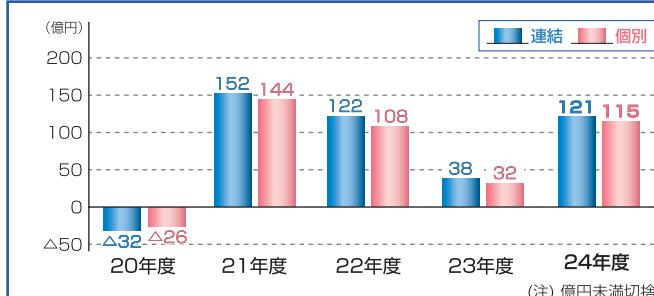
## ■経常損益の推移(上半期)



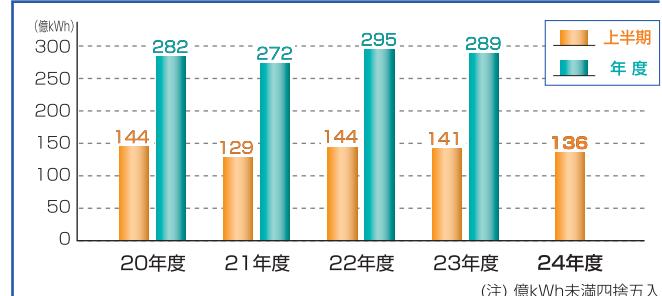
## ■当上半期販売電力量の構成比



## ■純損益の推移(上半期)



## ■販売電力量の推移



# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

| 資産の部      |                                    | 負債及び純資産の部                 |                                    |        |        |
|-----------|------------------------------------|---------------------------|------------------------------------|--------|--------|
| 科目        | 当第2四半期<br>連結会計期間<br>(平成24年9月30日現在) | 前連結会計年度<br>(平成24年3月31日現在) | 当第2四半期<br>連結会計期間<br>(平成24年9月30日現在) |        |        |
| 固定資産      | 11,868                             | 11,962                    | 固定負債                               | 8,637  | 8,361  |
| 電気事業固定資産  | 9,000                              | 9,155                     | 社債                                 | 4,386  | 4,286  |
| 水力発電設備    | 1,145                              | 1,165                     | 長期借入金                              | 2,909  | 2,719  |
| 汽力発電設備    | 1,148                              | 1,155                     | 流動負債                               | 1,743  | 1,996  |
| 原子力発電設備   | 2,173                              | 2,264                     | △以外に期限到来の固定負債                      | 587    | 895    |
| 送電設備      | 1,735                              | 1,765                     | 短期借入金                              | 164    | 154    |
| 変電設備      | 893                                | 896                       | 引当金                                | 105    | 106    |
| 配電設備      | 1,514                              | 1,525                     | 負債合計                               | 10,486 | 10,464 |
| 固定資産仮勘定   | 366                                | 311                       |                                    |        |        |
| 核燃料       | 990                                | 951                       | 株主資本                               | 3,423  | 3,353  |
| 投資その他の資産  | 1,220                              | 1,249                     | 資本金                                | 1,176  | 1,176  |
| 流動資産      | 2,070                              | 1,896                     | 資本剰余金                              | 339    | 339    |
| 現金及び預金    | 1,106                              | 927                       | 利益剰余金                              | 1,939  | 1,870  |
| 受取手形及び売掛金 | 417                                | 365                       | 自己株式                               | △32    | △32    |
| たな卸資産     | 272                                | 272                       | その他の包括利益累計額                        | 30     | 41     |
| 合計        | 13,939                             | 13,859                    | 純資産合計                              | 3,453  | 3,395  |
|           |                                    |                           | 合計                                 | 13,939 | 13,859 |

## 四半期連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

| 費用の部         |  | 収益の部   |           |       |       |
|--------------|--|--|-----------|-------|-------|
| 科目           | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>(平成24年4月 1日から)<br>(平成24年9月30日まで) | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>(平成23年4月 1日から)<br>(平成23年9月30日まで) | 科目        |       |       |
| 営業費用         | 2,259  | 2,262  | 営業収益      | 2,495 | 2,415 |
| 電気事業営業費用     | 2,198  | 2,208  | 電気事業営業収益  | 2,419 | 2,346 |
| その他事業営業費用    | 60   | 54   | その他事業営業収益 | 75    | 68    |
| 営業利益         | (236)  | (152)  | 営業外収益     | 15    | 15    |
| 営業外費用        | 64   | 73   | 四半期経常収益合計 | 2,511 | 2,430 |
| 四半期経常費用合計    | 2,324  | 2,335  |           |       |       |
| 四半期経常利益      | 187  | 94   |           |       |       |
| 渴水準備金引当又は取崩し | △1   | 24   |           |       |       |
| 税金等調整前四半期純利益 | 188  | 70   |           |       |       |
| 法人税等         | 67   | 31   |           |       |       |
| 四半期純利益       | 121  | 38   |           |       |       |
| (参考)四半期包括利益  | 110  | 38   |           |       |       |

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

| 科目               | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>(平成24年4月 1日から)<br>(平成24年9月30日まで) | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>(平成23年4月 1日から)<br>(平成23年9月30日まで) |
|------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 515  | 147  |
| 税金等調整前四半期純利益     | 188  | 70   |
| 減価償却費            | 377  | 412  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △340   | △306   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4  | 178  |
| 社債・借入金等の純増減額     | 56   | 231  |
| 自己株式の取得・売却       | △0   | △0   |
| 配当金の支払額          | △52  | △52  |
| 現金及び現金同等物の増加額    | 179  | 19   |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 927  | 739  |
| 現金及び現金同等物の四期末残高  | 1,106  | 759  |

## 連結子会社(11社)

- 日本海発電(株)
- 北陸発電工事(株)
- 北電テクノサービス(株)
- 日本海コンクリート工業(株)
- 北陸通信ネットワーク(株)
- 北電産業(株)
- 北電情報システムサービス(株)
- (株)北陸電力リビングサービス
- 北電パートナーサービス(株)
- 日本海環境サービス(株)
- 北電技術コンサルタント(株)

(平成24年9月30日現在)

## 持分法適用関連会社(2社)

- 北陸電気工事(株)
- (株)ケーブルテレビ富山

(平成24年9月30日現在)

あや  
ハレの日を彩なす

～北陸の祭り～

さ ぎつ ちよ  
勝山左義長まつり

# 人を楽しませることが喜びの、 ユーモアで満たされた冬の奇祭

日本各地に広がる小正月の火祭りのうちの一つが、福井県の「勝山左義長まつり」です。おどけた「左義長太鼓」などで観光客を破顔させる、このお祭りをご紹介します。



御神体

## 伝統の火祭りに芸事の披露が加わり発達

勝山左義長まつりは、雪深い勝山の地で春の訪れを願う左義長（火祭り）として、受け継がれてきました。

明和3年頃、五代藩主小笠原信房が、  
大庄屋の邸宅2階から櫓で町民が披露する  
素人歌舞伎などを観ました。それを発端として、今では左義長太鼓など多岐に  
わたる見ものが加わり、大勢の観光客で賑わう一大イベントとなっています。



町民の想いが詰まつた、寄付を控えた帳簿

カラフルな短冊が町中を彩る中、子どもたちも魅せる

受け継がれるもの

## え あん どん つく もの 左義長太鼓とともに、なくてはならない 絵行燈と作り物

祭りの間、時事問題や話題の出来事を絵と狂歌・川柳などで表す絵行燈が、町中に飾られます。江戸時代、祭りの日は無礼講とされ、町民は絵行燈にお上への不満や願望を書き綴ったそうです。

作り物は、その年の干支等をもじり風刺を効かせた「書き流し」（掛け軸）と、民具・伝統の物でその内容を表現することで構成されています。各区の櫓付近に飾られ、祭りの間、表から見物人が観賞できるように公開されます。

コンクールの優勝を目指して各区がアイデアを競い、前年末頃から作成し始める気合いの入れよう。その土着的な作風は、観る者的心を和ませます。



絵行燈



作り物

## 滑稽な「浮き太鼓」は祭りの花形

祭りは、勝山市街地の13地区で行なわれ、2日間かけて「左義長太鼓」「絵行燈」「作り物」「子供ばやし」などで魅せて、最終日の夜「どんど焼き」で御神体を焼いて終了します。

大正から昭和初期頃に始まったと言われる左義長太鼓は「浮き太鼓」と呼ばれるおどけた打ち方が特徴的な太鼓芸。



太鼓を叩く振りをする撥(ぱち)さばきや、表情など、パフォーマンス性が高い「浮き太鼓」



祭りの最後を飾る「どんど焼き」

音を鎮めるために1人が太鼓に腰掛け、赤襦袢姿の3人の男が「浮く」と呼ばれる独得の叩き方で、三味線・笛・太鼓・鉦と合わせて勝山左義長ばやしを披露します。

## 伝承し続け、数多くの人々にアピールする

現在、保育園や幼稚園などで祭りのことを伝えたり、勝山左義長ばやし保存会が太鼓の撥さばき・三味線などとともに表情や動き方を指導し、区を越えて後継者育成に努めています。また、同会は県外でも勝山左義長ばやしを積極的に披露。市民以外にもファンを増やしている勝山左義長まつりは、今なお進化し続けています。



町を挙げての祭りに、多くの観光客が押し寄せる

### Interview 祭りを語る

## 勝山の男にとって通過儀礼だった



太鼓櫓は、1年に2日限りの出番を収蔵庫で待つ

「浮き男」をするのは一人前の男として認められた証しで、昔は赤飯で祝ったと言います。当時櫓に上がるのは、成人男性と芸妓だけ。それが今では、女性が太鼓櫓で三味線を弾き、子供ばやしも非常に盛り上りますし、老若男女を問わず町を挙げての一大イベントです。もっと来客を「おもてなし」する心を育てて、広く皆様に愛される祭りへと育てていきたいですね。



勝山左義長まつり実行委員会 委員長 松村 誠一さん

開催地 福井県勝山市

開催日 2月最終土・日曜日  
(平成25年は2/23・24日)

お問い合わせ  
勝山市役所  
商工観光部観光政策課  
TEL:0779-88-8117  
FAX:0779-88-1119  
e-mail:kankou@city.katsuyama.fukui.jp



絵行燈の川柳を全国公募します！ 応募〆切1月10日(木)

## 単元未満株式(1~99株)を 整理したい株主さまへ

単元未満株式(1~99株)は、証券市場での売買が  
できませんが、**単元未満株式の買取請求・買増請求制度**  
をご利用いただくことができます。当社では、これらの  
請求にかかる手数料を無料としておりますので、  
単元未満株式の整理に是非ご活用ください。

※ 証券会社の口座に単元未満株式をご所有の株主さまは、証券会社での手数料が  
かかる場合があります。

### ■単元未満株式の買取請求制度

ご所有の単元未満株式を処分したい株主さまに対して、  
当社が単元未満株式を買い取らせていただく制度。

### ■単元未満株式の買増請求制度

ご所有の単元未満株式を1単元(100株)にしたい  
株主さまに対して、当社から単元未満株式をお買い増し  
いただく制度。

## 特別口座に当社株式を ご所有の株主さまへ

特別口座は、証券会社の口座とは異なり、ご所有の株式  
を、ご家族へ譲渡(名義書換)したり、証券市場で売却した  
りすることができません。譲渡や売却をご希望の場合は、  
あらかじめ証券会社に株主さまご本人名義の口  
座を開設し、特別口座から証券会社の口座へ株式  
を振替える必要があります。株式の振替が完了した後に、  
譲渡や売却のお手続きが可能となります。

※ 証券会社での口座開設、譲渡および売却のお手続きにつきましては、  
証券会社へお問い合わせください。

### ■特別口座とは…

平成21年1月実施の「株券の電子化」に伴い、それまでに  
証券会社の口座にお預けになっていたい株主さまの  
当社株式を管理するために、当社が三井住友信託銀行に  
開設した口座です。

### お手続きのお問い合わせ先

#### 〈証券会社に口座を開設されている株主さま〉

口座を開設された証券会社にお申出ください

#### 〈特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)〉

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお申出ください

**0120-176-417** (平成24年12月末まで)

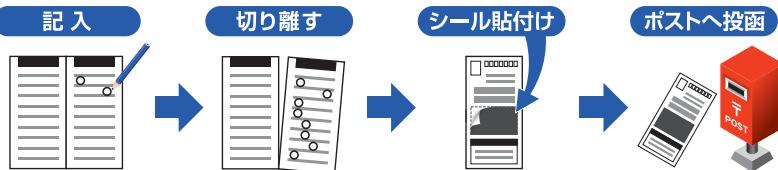
**0120-782-031** (平成25年1月より)

## 株主さまアンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆さまへの適切な情報開示につとめ、当社の経営についてより一層ご理解いただけるIR活動を行ってまいりたいと考えております。つきましては、お手数ではございますが、同封の「株主さまアンケート」にご協力いただきたくお願い申し上げます。

### ■回答方法

同封のアンケートハガキの「ご回答欄」に必要事項をご記入のうえ、個人情報保護シールをハガキの点線の枠内に貼付して投函下さい。



※ご記入いただいた個人情報は、当選者へのプレゼント発送のほか、株主さま向けの活動充実のために使用させていただく場合がございます。予めご了承の上、ご記入ください。

■締め切り：2013年1月31日(木)〈当日消印有効〉

ご回答いただいた方の中から、  
抽選で100名様に、クオカード  
500円分をプレゼントいたします。



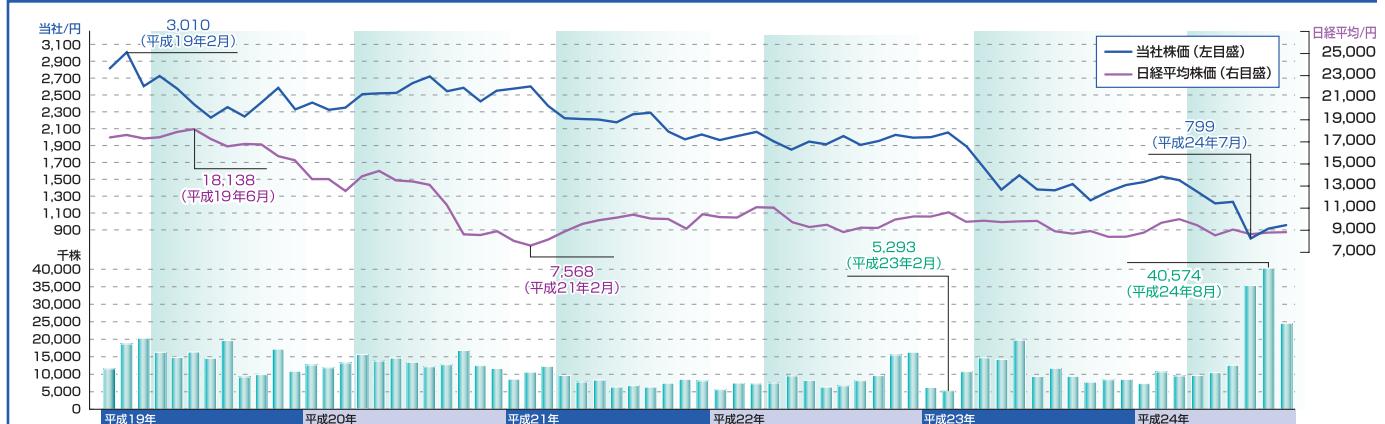
ご希望の方は、アンケートハガキにお名前、住所、  
お電話番号、株主番号をご記入ください。

\* プレゼント当選の発表は、商品の発送をもって  
代えさせていただきます。

\* 上記のクオカードのデザインはあくまでイメージです。  
実際のカードとはイメージは異なります。

お問い合わせ先  
北陸電力(株) 総務部株式チーム  
TEL: 076-441-2511(代表)  
※8:40～17:20(土・日・祝日を除く)

### ■当社株価(月末終値)および出来高の推移



# 株主information

## 会社概要

(平成24年9月30日現在)

|                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| ■設立年月日                    | 昭和26年5月1日                 |
| ■資本金                      | 1,176億4,154万9,080円        |
| ■発行可能株式総数                 | 4億株                       |
| ■発行済株式総数                  | 2億1,033万3,694株            |
| ■販売区域                     | 富山県、石川県、福井県(一部を除く)、岐阜県の一部 |
| ■従業員数                     | 4,621名(出向者等を除く)           |
| ■供給設備                     |                           |
| ○発電所                      |                           |
| 水力                        | 128か所 出力／190.5万kW         |
| 火力                        | 6か所 出力／440.0万kW           |
| 原子力                       | 1か所 出力／174.6万kW*          |
| 新エネルギー                    | 6か所 出力／ 0.8万kW            |
| 計                         | 141か所 出力／806.0万kW         |
| ※：志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合 |                           |
| ○送電線                      | 電線路こう長 3,313km            |
| ○変電所                      | 200か所 出力／2,922万kVA        |
| ○配電線                      | 電線延長 12万1,377km           |

| ■主要事業所 |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 本店     | 富山市牛島町15番1号                      |
| 地域共生本部 | 金沢市下本多町六番丁11番地                   |
| 原子力本部  | 石川県羽咋郡志賀町高浜町二13番地21              |
| 富山支店   | 富山市牛島町13番15号                     |
| 高岡支社   | 高岡市広小路7番15号                      |
| 魚津支社   | 魚津市新金屋一丁目12番12号                  |
| 石川支店   | 金沢市下本多町六番丁11番地                   |
| 七尾支社   | 七尾市三島町61の7                       |
| 小松支社   | 小松市栄町25の1                        |
| 福井支店   | 福井市日之出一丁目4番1号                    |
| 丹南支社   | 越前市新町10字東野末1の6                   |
| 東京支社   | 東京都港区虎ノ門二丁目8番1号<br>虎の門電気ビルディング6階 |

## 役員

(平成24年9月30日現在)

|        |       |             |
|--------|-------|-------------|
| 取締役会長  | 永原 功  | 常勤監査役 高桑 幸一 |
| 取締役社長  | 久和 進  | 常勤監査役 淣見 隆昌 |
| 取締役副社長 | 堀 祐一  | 監査役 犬島伸一郎   |
| 取締役副社長 | 本林 敏功 | 監査役 深山 彰    |
| 取締役副社長 | 三鍋 光昭 | 監査役 川田 達男   |
| 常務取締役  | 荒井 行雄 |             |
| 常務取締役  | 金井 豊  |             |
| 常務取締役  | 近谷 雅人 |             |
| 常務取締役  | 赤丸 準一 |             |
| 常務取締役  | 矢野 茂  |             |
| 常務取締役  | 堀田 正之 |             |

## 株主メモ

|                  |  |
|------------------|--|
| ●事業年度            | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| ●定期株主総会          | 6月   |
| ●配当金の<br>受領株主確定日 | 期末配当金 3月31日<br>中間配当金 9月30日   |
| ●単元株式数           | 100株   |
| ●証券コード           | 9505   |
| ●公告方法            | 電子公告により、当社のホームページに掲載して行います。<br>( <a href="http://www.rikuden.co.jp/">http://www.rikuden.co.jp/</a> ) |

|                            |   |
|----------------------------|---|
| ●株主名簿管理人および<br>特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社             |
| 〔郵便物ご送付先〕                  | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 〔お問い合わせ先〕                  | 0120-176-417                                  |

※平成25年1月より  
郵便物ご送付先・  
お問い合わせ先が  
変更となります

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031

〔ホームページ〕 <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 株式に関するお手続きおよびお問い合わせ先について

<証券会社に口座を開設されている株主さま>  
口座を開設された証券会社にお申出ください

<特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)>  
三井住友信託銀行 証券代行部にお申出ください



〒930-8686 富山市牛島町15番1号  
電話 076-441-2511(代表)  
<http://www.rikuden.co.jp/>  
発行／総務部株式チーム 平成24年11月

